

2021年度「広報事業担当者のための課題解決・実践オンライン研修」実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会 御中
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 2022年 1月7日

1 施設概要

施設名	吹田市立男女共同参画センター・デュオ	
代表者名・職名	吹田市市民部人権政策室男女共同参画センター所長 檀野良美	
住所	(〒564-0072) 大阪府吹田市出口町2-1	
	電話：06-6388-1451	FAX：06-6385-5411
担当者名・職名	主担当 主査（事業担当） 和田 亜由美 / 係員（事業担当） 内藤 慶子	
	E-mail：duo-jigyo@city.suita.osaka.jp	

2 事業の概要

事業名	広報事業担当者のための課題解決・実践オンライン研修
趣旨、ねらい	広報事業に携わる職員として必要な基礎知識を知るとともに、各センターの課題を洗い出し、対応の具体策を実践的に検討する。 また、全国のセンター職員との交流を図り、情報共有を行う。
対象者と定員	男女共同参画センター・女性センター等の広報事業担当者または広報事業に関心のある方、行政の男女共同参画担当者など20名。
実施日	令和3年12月14日（火） （接続テスト：12月7日（火）※希望者のみ）
プログラム概要と 実参加者数	◇オリエンテーション（9：30～10：00） Zoom 接続確認、研修のねらいとプログラムの紹介、スタッフ紹介等 ◇講義①（10：00～11：00） 「男女共同参画センター・女性センターにおける広報事業の現状と課題」 講師／坂田 静香（全国女性会館協議会理事・事務局長） ・コロナ影響下の男女共同参画センターの広報事業とは ・男女共同参画センターの広報の現状と課題 ◇ブレイクアウトセッション①（11：00～11：05） 参加者による自己紹介等 ◇講義②（11：15～12：20） 「効果的な情報発信とは～アナログからデジタルまで～」 講師／加藤 わ呼さん（ICT アドバイザー・プランナー） ・なぜ情報発信が大切なのか ・さまざまな発信手段・・・デジタルからアナログまで ・SNS 概論 何をどう使う？

	<p>◇講義③（13：20～14：50） 「読まれる広報誌にはワケがある」 講師／吉田 三千代さん（一般社団法人大阪デザインセンター企画事業部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは手にとってもらうために 目を引くレイアウトのコツ ・読み手を引きつける文章とは ・広報誌クリニック・・・全国のセンターの広報誌を添削 <p>◇ブレイクアウトセッション②（15：00～16：30） 「意見交換（全体ワーク・講座を聞いて気づいた改善点の発表など）」 ファシリテーター／谷口 年江（全国女性会館協議会常任理事・静岡市女性会館館長） 檀野 良美（全国女性会館協議会理事・吹田市立男女共同参画センター所長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワーク（現状分析と課題、明日から始めることを洗い出す） ・グループに分かれて共有後、グループごとに全体へ発表 ・研修のまとめ <p>◇参加者数 22名 【内訳】 協議会会員館：21名（18館） （14都府県から参加） 協議会非会員館：1名（1館）</p>
アンケート結果の概要	別紙参照
担当者所感	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、Zoomを使ったオンライン研修として企画を始めました。当初は広報事業だけでなく情報事業についても扱いたいと、2日間にわたるプログラムを考えていましたが、オンラインという特性から、目的を広報事業に絞り、1日で終了するプログラムに決定しました。</p> <p>プログラム内容として、明日からすぐ使えるようなスキルを身に着けていただける講義を中心に企画していたところ、やはり「男女共同参画センター/女性センター」ならではの課題やアプローチ方法を軸に考える必要があるとの助言をいただき、冒頭に坂田事務局長による講義①を入れました。これにより、研修全体の目的が明確になり、意外ときちんと学ぶことの少ない「広報事業」について捉え直す機会となったという声が多くありました。</p> <p>講義②・③の講師は当センターの市民向け講座でも人気の講師であり、今回「男女共同参画センターの広報」に特化した講義をしていただきました。明日からすぐできることをわかりやすくお話していただいたほか、センターや行政とは違う一般の目から見た率直なご意見をいただき、広報事業のみならず、センター事業全体にも通じる内容だったと思います。講義②の加藤講師はご厚意で講義①を聴いていたこともあり、内容がうまくリンクするようお話していただきました。また、講義③の吉田講師には、事前に添削希望のあった啓発誌を使った講義が大変好評でした。</p> <p>ブレイクアウトセッション（意見交換・全体ワーク）では、全国のセンター職員がお互いに顔を見て意見交換することができたのが、オンラインならではの良さだと思いました。ただ、セッションでは各グループが個室化するため、状況把握が難しく、オンラインに不慣れな方へのフォローがもう少しできればよかったですと感じま</p>

	<p>した。また、対面の研修ではないため、別のグループとの交流が難しく、全体で一言ずつでも挨拶する時間があってもよかったと思いました。</p> <p>研修全体の運営については、司会進行とは別にZoomのシステム担当を置くことで、受講者からの質問や指摘にすぐ対応できるなど、全体的にスムーズに進行することができました。途中、講師の回線が切れてしまうアクシデントがありましたが、臨機応変に対応できたと思います。また、研修1週間前に接続確認の日時を設け、任意参加ではありましたが、研修当日に関するちょっとした質問なども受けることができたので、よかったと思いました。</p> <p>女性会館協議会との企画会議はオンラインで7月から始まり、数回にわたり実施しました。その中で当センターが日ごろ感じている課題や悩みをお話ししたり、女性会館協議会の目的や今まで果たしてきた役割について改めてお聞きしたりすることで、ぼんやりしていた企画内容が回を重ねるごとにだんだんスッキリしていくのを感じました。研修当日まで様々なアドバイスをいただけてとても心強く思いましたし、当センターにとっては企画の段階から実りのある研修だったと思います。今後も、各地のセンターの特色を生かした共催ならではの研修を楽しみにしています。</p>
--	--